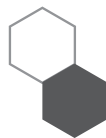


内部統制のための電子メール・アーカイブ・ソリューション

ZL Unified Archival Suite™



「監査に耐える」電子メール・アーカイブ・システムを実現

ZL Unified Archival Suite™

今や、電子メールは企業や組織活動を支える最重要なシステム基盤の1つとなっており、内部・外部との様々な情報伝達、確認、意思決定の多くが、電子メールを介して日常的に行われています。

多くの企業や組織では、障害復旧や履歴保持といった目的で電子メールのバックアップが行われていますが、内部統制への対応という観点から、いくつかの懸念があります。

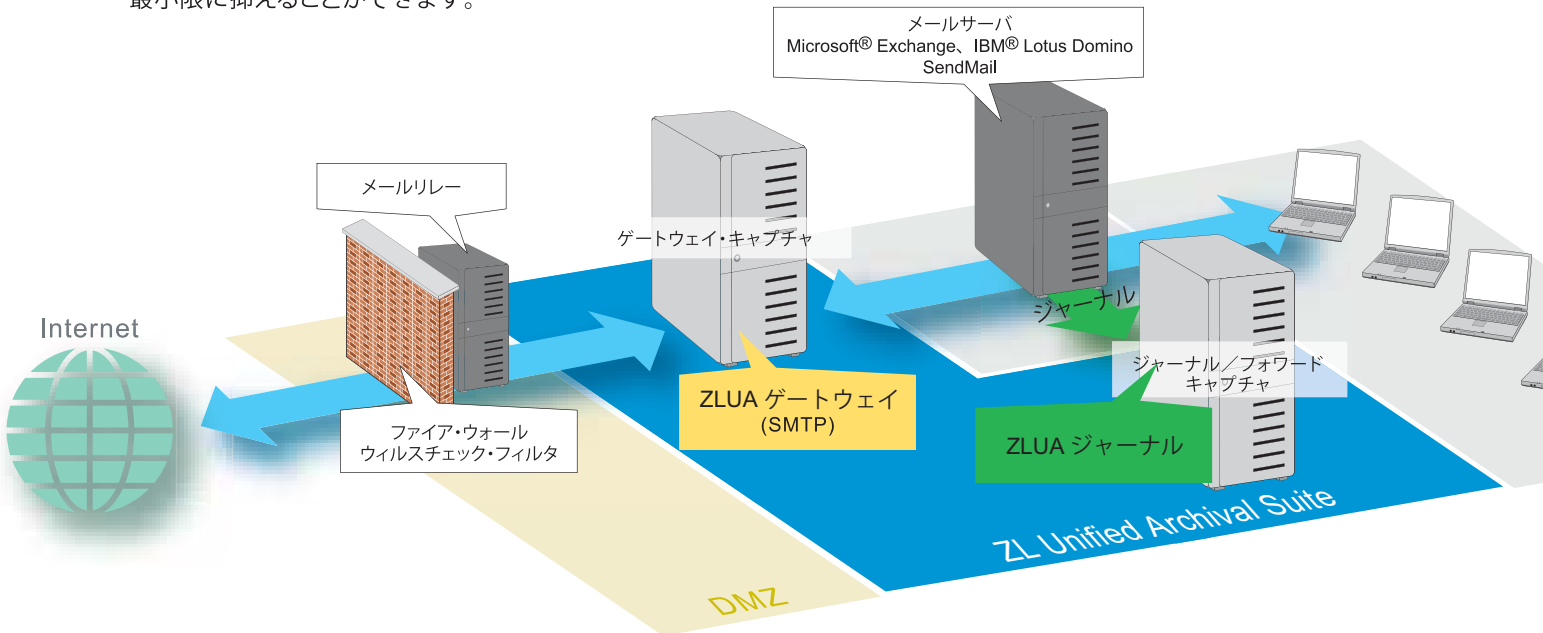
- ・ やり取りされる全てのメールを漏れなく保存することが困難である
- ・ 監査が必要な事象が起きた場合、必要なメールを探し出すのに長時間を要する
- ・ 事後の改ざん等、保存されたメールの信憑性・真正性に不安が残る

ZL Unified Archival Suite™ は、電子メールを監査証跡として蓄積保存することできる内部統制に対応したアーカイブ・ソリューションです。

ZLUA の特長

- 全ての電子メールをアーカイブ
 - ✓ 社内⇒社内、社内⇒社外、社外⇒社内の全ての経路のメールを記録
 - ✓ 宛先がBCC、メーリングリストのメールについても宛先を明らかに保管
- シングル・システム・イメージによる一元管理
 - ✓ 複数メールサーバ・複数種メールサーバ環境であってももデータを一元管理
 - ✓ 複数ZLUAサーバ構成においても1論理システムとして運用・管理
 - ✓ 蓄積記録された膨大なメールは、一元的に高速検索
- オープン・システム
 - ✓ オープンスタンダードであるMIMEフォーマットにて記録
 - ✓ 抽出結果の第三者への提示が可能

ZLUAでは、条件でフィルタリングしたメールの事前・事後レビューや、ルール設定によるメールの送信停止が可能です。また、本文および添付ファイルが同一のメールは、シングル・インスタンス機能により保存するため、蓄積データ容量を最小限に抑えることができます。



高速検索

内部統制に対応するための電子メール・アーカイブには、高速検索が必要不可欠です。ZLUAは、アーカイブ時に電子メールのヘッダー・本文・添付ファイルから検索用インデックスを自動生成しており、過去数年間にわたって蓄積された膨大な量のメールから対象となるメールを高速に検索・抽出することができます。70以上の添付ファイル・フォーマットに対応しており、添付ファイル¹⁾を対象としたテキストの全文検索も可能です。

- 1) 検索対象となる添付ファイルの一例
- Microsoft® Office Word/Excel®/PowerPoint®
 - Adobe® PDF®
 - 上記の圧縮形式ファイル
- ※対応するバージョンについては、別途お問合せください。



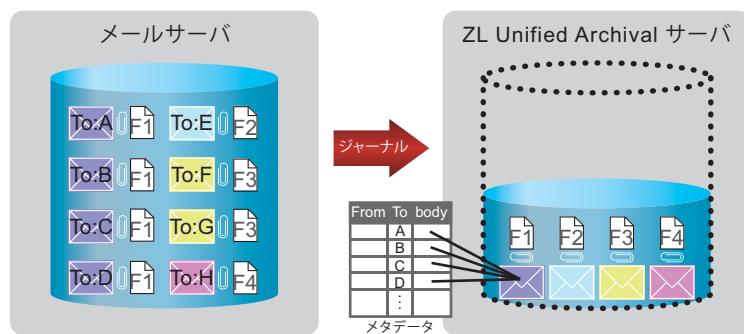
プリレビュー／ブロッキング

内部統制への対応として、外部へ送信される電子メールの事前レビューや送信ブロックが行えます。ZLUAは、あらかじめ設定されたキーワードに基づいてメールをフィルタリングすることができ、例えば、特定のキーワードを含むメールは外部への送信前に承認権限者がチェックを行ったり、不適切なキーワードを含むメールは送信を停止したりすることが可能です。



シングル・インスタンス機能

アーカイブ時のシングル・インスタンス機能により、同じ本文と添付ファイルをもつ複数メールに対しては、送受信の宛先情報を作成した上で本文および添付ファイルは1つのメールセットのみを保存します。同報メールなどで発生した内容が同一のメールは複数保存しないため、蓄積に必要となるストレージ容量を最小限に抑えることができ、TCOの削減に貢献します。



例) ファイルが添付されたメールの一斉同報

その他

- クラスタリング構成: メール・システムの規模に応じた柔軟な拡張性を提供します。
 - ロード・バランサー機能を標準搭載しており、複数ZLUAサーバによる構成が可能
 - 処理の負荷分散をするとともに、障害時にはフェールオーバーを実施
- 暗号化アーカイブ
 - メール真正性を保つため、事後の改ざんを不可能にする暗号化アーカイブが可能

■ 動作環境

システム構成

CPU	インテル® Xeon® プロセッサー2.4 GHZ 以上
メモリ	2GB 以上
OS	Microsoft® Windows Server®, Red Hat® Enterprise Linux®, IBM® AIX®, Sun® Solaris®

データベース

データベース・ソフトウェア	Microsoft® SQL Server、Oracle®, IBM® DB2®
---------------	--

監視対象メールサーバ/システム

ジャーナル方式	Microsoft® Exchange Server、IBM® Lotus Domino
ゲートウェイ方式	Microsoft® Exchange Server、IBM® Lotus Domino、sendmail、qmail等、SMTPプロトコルを使用する通信

※対応するバージョンについては、別途お問合せください。

■ 主な機能

コンプライアンス・モジュール： 内部統制のためのメール・アーカイブと管理

機能	特長
メールキャプチャ	<ul style="list-style-type: none">・100%メールキャプチャ&アーカイブ・リアルタイム・インデックスによるメールの高速検索・シングル・インスタンス圧縮機能・メールデータの暗号化
フィルタリング	<ul style="list-style-type: none">・承認者のメールレビュー、自動メールブロック・メールサンプリング抽出
クラスタリング	<ul style="list-style-type: none">・グリッド・アーキテクチャによる負荷分散と冗長化

メールボックス・マネジメント・モジュール： メールサーバ上のストレージ容量を削減

機能	特長
アーカイブ	<ul style="list-style-type: none">・メール全文、部分、または添付ファイルのスタブ機能・シングル・インスタンス圧縮機能・ユーザメールボックス検索

©2006 SGI Japan, Ltd. All rights reserved. 本紙に掲載されている商標、画像についてはその所有者に所有権が属しています。掲載されている仕様は、予告なしに変更される場合があります。SGI、SGIのロゴマークは日本SGI株式会社の登録商標です。インテルとXeonはIntel Corporationの登録商標です。Microsoft、WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。ZL Technologies、ZL TechnologiesのロゴマークおよびZL Unified Archival SuiteはZL Technologies社の登録商標または商標です。その他全ての商標、および登録商標は、それぞれの所有者に所有権が属します。(11/2006)



日本SGIは地球環境に優しい企業を目指しています



日本SGIは様々なソリューションの提供を通じてお客様の製品の開発・設計の過程において発生する紙や燃料等の資源消費量やCO2排出量の低減を行い、省資源、省エネルギー化に貢献しています。

日本SGI株式会社

〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階

TEL:0120-161-086 FAX:0120-161-087 <http://www.sgi.co.jp>

本社 TEL:03-5488-1811 (大代表) FAX:03-5420-7201
西日本支社 TEL:06-6343-6700 (代表) FAX:06-6343-6713
中部支社 TEL:0565-35-2561 (代表) FAX:0565-35-2189
つくば・東北事業所 TEL:029-858-1551 (代表) FAX:029-858-1071
東北営業所 TEL:022-221-2301 (代表) FAX:022-221-2304
北海道営業所 TEL:011-708-1511 (代表) FAX:011-758-2789
テクニカルサポートセンター TEL:045-682-3700 (代表) FAX:045-682-0856
横浜ラーニングセンター